

## 報告・評価シート

## 1 基本情報

設置主体	名称	株式会社いぶき	報告日	令和4年 3月 14日
	所在地	宇部市妻崎開作 1014-3		
事業所	名称	ウィズライフ創	評価日	年 月 日
	所在地	宇部市妻崎開作 1014-3		

事業所の運営方針	事業所は、常時の支援体制を確保することにより、利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、相談、入浴、排せつ又は食事の介護、その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。 事業の実施に当たっては、関係市町、指定一般及び特定相談支援事業者、他の指定障害福祉サービス事業者その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。
事業内容	事業所開設日 令和2年 2月 1日 利用者定員 19名（利用者 19名）・短期入所定員 1名（利用者 1名）

利用者概況	障害種別	身体 4名	知的 15名	精神 6名	難病 0名	※重複する場合はそれぞれに記載
	支援区分	区分3 1名、区分4 9名、区分5 5名、区分6 4名				
	日中の状況	グループホームでも日中を過ごす方 19名				
人員配置	日中	世話人 13人(常勤換算 4.8人)		生活支援員 9人(常勤換算 5.5人)		その他( )人
	夜間	世話人 人		生活支援員 人		その他(夜間支援従事者) 11人 常勤換算 2人

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価の視点	【協議会記入欄】 要望, 助言, 評価
<p>支援体制の確保と支援の実施</p> <p>・日中サービスの提供内容や、他の日中活動サービスの利用状況、外出や余暇活動等の社会生活上の支援、相談支援事業所や他のサービス事業所等との連携等について</p>	<p>A ユニット 9 名【区分 3:1 名・区分 4:4 名・区分 5:2 名・区分 6:2 名+短期入所 1 名</p> <p>生活支援員: 基準配置 83.1 時間/週に対して 102 時間/週配置</p> <p>世話人: 基準配置時間 80 時間/週に対して 87 時間/週配置</p> <p>B ユニット 10 名【区分 4:5 名・区分 5:3 名・区分 6:2 名】</p> <p>生活支援員: 基準配置 95.3 時間/週に対して 96 時間配置</p> <p>世話人: 基準配置 80 時間/週に対して 87 時間/週配置</p>	<p>日中、土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。</p>	
	<p>上記に加え各ユニットごとに夜間支援従事者を配置し 24 時間 365 日切れ目のない支援を提供できる人員を配置している。</p> <p>・支援学校在学中に施設入所支援の体験実習等で集団生活に不適とされ入所を断られた方(9 名)施設入所を退所になった方(3 名)や 10 年以上長期入院を余儀なくされていた方(3 名)や入退院を繰り返していた方(4 名)を受け入れている。(うち 65 歳以上の方 2 名)</p>	<p>重度化・高齢化等のニーズに対応しているか。</p>	
	<p>・各利用者の相談支援専門員と連携し、日中活動として 19 名が生活介護を利用。また、訪問看護を 18 名が利用している。また、入居者のうち 1 名は令和 4 年 4 月より外部サービス利用型共同生活援助に移り、就労移行支援を利用し就労継続支援 B 型への通所を開始する予定。</p> <p>・障害児入所施設や病院での生活が長く地域での生活経験が乏しい方が多いため、重度の障害があっても地域で当たり前の日常を送ることができるよう外出や余暇活動の支援を実施している。</p> <p>&lt;例&gt;</p> <p>買い物支援: 1/週(目的: 計画を立て購入する 金銭感覚を身につける)</p> <p>外出支援: 1/週(目的地や乗車中のレクリエーションを皆で計画する)</p> <p>移動スーパー: 1/週(コロナ流行により実店舗での購入ができない間)</p> <p>運動会: 1/年(支援学校のグラウンドをお借りして実施)</p> <p>誕生日会: 1/月(当月に誕生日を迎える方を皆で企画し祝う)他季節行事等</p>	<p>利用者の意向に反して日中サービス等の利用が制限されていないか。</p> <p>適切なサービスの利用が図られるよう他の事業所等との連携が図られているか。</p>	
<p>利用者が充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援に努めているか。</p>			

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価の視点	【協議会記入欄】 要望, 助言, 評価
<p>地域に開かれた運営</p> <p>・家族や地域住民との交流等について</p>	<p>・地域住民の方々への活動報告や広報活動の一環として、月に1度開催されている民生委員の会合に参加している。会合の中で近隣の方が栽培している畑の作物の収穫体験を提案され参加することができた。</p> <p>事業所開設前、開設後も事業所説明会を提案したがコロナ流行もあり参加はありませんでした。流行の状況をみながら地域の住民の方との共同の防災訓練や行事の開催を計画している。</p>	<p>地域住民との交流の機会が確保されているか。</p>	
	<p>・ご家族との交流の場として年二回の「家族会」を計画していたが、コロナ流行の状況もあり、参加を見送るご家族が多く、年一回12月に実施した。写真や動画を活用し日頃の入居者の生活や活動の様子を報告した。質疑応答の際の、意見や要望を取り入れ支援に活かす取り組みを実施している。</p> <p>&lt;要望例&gt;</p> <p>・面会できない時期のテレビ電話を活用した面会・・・即実施</p> <p>・家族も参加できるイベントの企画等・・・令和4年度実施予定</p>	<p>家族との交流の機会が確保されているか。</p>	
<p>短期入所の併設</p> <p>・利用状況や緊急時の受け入れの状況等について</p>	<p>・併設の生活介護を利用しながら将来的なグループホーム利用を検討している利用者の定期利用や、突発的な利用ニーズに対しても可能な限り情報収集し、緊急の職員ミーティングを行い対応している。</p> <p>&lt;緊急対応の事例&gt;</p> <p>・家庭内でのDVがあり別居していたが、住所を特定されたため本人がパニックを起こし通常のホテル等では対応できず当日夕方に受け入れた。</p> <p>・母と二人で生活していたが、自宅で母が倒れ入院することになり、当日申し込みがあり緊急に受け入れた。</p>	<p>地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。</p>	
	<p>・近隣のコンビニ店員と口論なり、警察が保護したが施設等で過ごすのが妥当と言われ警察署に迎えに行き、受け入れた。</p> <p>・自宅で生活していたが、自傷行為が激しくなり救急搬送されたが、病院で対応できず傷の治療後に自宅へ帰ることができず病院に迎えに行き受け入れた。【緊急の受け入れ 令和2年度8名 令和3年度10名】</p>	<p>緊急的利用のニーズに対応しているか。</p>	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価の視点	【協議会記入欄】 要望, 助言, 評価
職員の資質向上への取り組み  ・参加した研修や取得した資格等について	・委員会活動(虐待防止・行事企画・入居検討・研修企画・環境衛生・事故防止・防災・感染症対策)を月に一度実施(緊急の場合は適宜開催)し、参加メンバーで協議した内容を資料としてまとめ職員に対して周知している。 ・社外やオンラインで実施された研修に参加した職員は、参加していない職員に対して研修内容を伝達する目的で社内研修を実施している。12回/年 ・資格取得にかかる費用を全額補助している。 介護職員実務者研修令:和2年度6名・令和3年度7名 サービス管理責任者:令和2年度5名・令和3年度4名 相談支援専門員研修:令和2年度2名・令和3年度2名 強度行動障害研修:令和2年度5名・令和3年度4名	支援の質の確保に努めているか。(資格取得、研修等)	
その他  ・事業所独自の取り組み等について	・この二年間は活動が制限される場面が多くあったが、来年度は創作活動の充実を計画している。農業への参加、陶芸や絵画など芸術活動を支援に取り入れ充実を図る予定である。 ・開設以来一貫して、どのような状況にある利用者であっても受け入れるところから始める姿勢は継続したいと考えている。力及ばない場面も多々あるが、受け入れないことには、その利用者の置かれた状況は変わらない。		
協議会からの要望、助言への対応(2回目以降)  ・要望・助言の内容及びその対応について		要望、助言に誠実に対応しているか。	